



認定特定非営利活動法人

青少年の自立を支える会 通信

Winter

平成23年

2011年1月

会報 第53号



星の家まつりの一コマ

目次

巻頭 お一人さま社会

春夏秋冬「星の家」 NO.17

事務局報告

星の家まつり報告



新年明けましておめでとうございます！今回は本会理事で本会立ち上げの原動力の一人であった認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク常任理事・事務局長の矢野さんに寄稿していただきました。

お一人さま社会

理事 矢野 正弘

年末、50代男性から電話があった。「引っ越ししたいが、その費用がない。ボランティアで手伝って」という。聞けば、成人病を患い合併症で脳梗塞も併発、生活保護も受けている。さっそくお会いしているんな話をする。家族、親戚もいない。最近まで宇都宮に住んでいなかったのを知り合いもなく、長年やっていた仕事は、今は斜陽産業。

実は「引っ越しボラ」のほかにもうひとつ依頼があった。それは「緊急連絡先になってほしい」というもの。不動産屋さんにアパートを借りる際に、保証人や連帯保証人はいないから代りに必ず緊急連絡先を決めてほしいと言われたとのこと。怪訝に思って、目の前で不動産屋さんに電話してもらった。家賃踏み倒しや借金肩代わりじゃないことの確認のためだ。「緊急連絡先は、もしご本人が孤独死していたときの連絡先です」という。

ということで、快諾して署名・押印した。

本格的な“おひとり様社会”の到来だ。とちぎVネットでやっている若者支援でも、このままあと10年たったらどうなるかと思わせる若者の事例も多い。「元気+お一人」ならまだいいが「成人病+お一人」はやばい。「若者+お一人」も、若いから元気だし可能性があるので大丈夫だろうというのも、単な

る思い込み、楽観的すぎる。若いけど縁がない(支援者・助言者・仲間がない)ので元気がなくなるということを日々目にしている。これに病気が加わるともうヤバイ。逆に、独り暮らしの重度身体障害者でも仲間やボランティアやヘルパーの縁がある人の方が元気だ(体は治らないが)。

ポイントは「縁」である。悪縁じゃなく良縁をどうつくるか。秘訣は「ボランティアしあいいっこ」すること。相手のためにやってあげるとその行為が、回りまわって最後に自分にくることを信じてのことだ。若者に目をかけ、手をかけるのは、その行為や気持ち数年後、数十年後に活性化してその若者が他の人たちに良縁をつくり及ぼすことと思う。(家族ではあまり効果がない。他人が応援した方が良い)その繰り返し「人間の生態系の復活」だと思ふ。

緊急連絡先になった私は「あなたの孤独死を始末するのが嫌だから、孤独死にならないようにどうするか、今から一緒に考えましょうね」と言ってその日はお別れした。「男やもめにウジがわく」というが、気軽に他人が踏み込めないような家じゃ看病にも行けないしお節介の足が遠のくというものだ。まずはそこから。

昨年12月は人が集まる機会が多く、18日ばだいい家」の忘年会、24日には「星の家」でクリスマスパーティをしました。

クリスマスパーティでは、いつも豪華な食事を作ってくださる藤岡さんと、アルスパン屋さんが美味しいお料理を作ってきて下さいました。



せっかくだからとOBやボランティアさんにも声をかけたところ、親子連れで来てくれた人や仕事が終わってから来てくれた人もいて、20名くらいが集まりました。



続々と運び込まれる料理を見て「わぁ～スゴいね」と歓声をあげながらみんなで美味しくいただきました。

1人300円のプレゼントを持ち寄って、プレゼント交換をしたりゲームをしたりしながら、賑やかに、とても楽しい時間を過ごしました。

クリスマスには他にも、毎年クッキーを焼いてきてくださる方や入居者の子達とプレゼントを持ってきて下さる方、一人ひとりにお菓子の詰め合わせを持ってきて下さる方、「毎年だから無いと困るでしょ」と言ってケーキを持ってきて下さる方々があります。



クリスマスに限らずですが、こんな風に日常の中でふと、「星の家」を思い出して様子を見に来てくださる方達があります。そんな時、入居者と一緒に大人も、星の家は本当に沢山のの人に思われているなあ、と感じます。

「星の家まつり」や「コンサート」など、大きなイベントの時に力になってくださる沢山のボランティアの方々にはエネルギーとパワーをいただき、普段の生活の中で触れ合う方々には暖かい気持ちをいただいているのです。

事務局報告

星

の家まつり開催報告

去る10月17日曜日、宇都宮市明保野体育館および隣接駐車場を会場に、第13回目の星の家まつりを開催しました。天候に恵まれぽかぽか陽気の中を、大勢のご来場者が訪れ盛況のうちに事故もなく無事に終えることができました。

その結果、売り上げは前回に及びませんでした。売れ残りのバザー物品の売却処分を加えた収益は過去4番目の1,450千円(詳細は後掲の決算書参照)となりました。ここにご支援ご協力をいただきました皆様方には厚くお礼申し上げます。

今回も“生協のチラシを見て”と言って大勢の方がバザー物品を提供してくれました。これはとちぎ

コープ様が毎年無償で生協宅配の商品カタログ綴りにまつりチラシ(1万部以上)を入れていただいたお蔭で、先細りのバザー物品集めに朗報でした。

また、会場設営機材等では毎年無償でご支援いただいているテント・テーブル・椅子等のイベントワーク(有様、プロパンガスの株ミヤプロ様、そして臨時倉庫の浅香様等々により、準備の負担とともに費用の大幅軽減につながりました。

さらにボランティア集めに頭を悩ませていたところ、国際医療福祉大を始め宇都宮大、宇都宮短期大、とちぎ



オークション会場、ぎユースワークカレッジ、作新学院高等部の総勢約

90名の学生ボランティアが参加し大活躍！加えてワールド・ソウル・コーラス宇都宮のメンバーにもお手伝いをいただき、お昼をコーラスで花を添えていただきました。お陰様で過去最高の約250名のボランティアの協力を得ることができましたこと嬉しい限りです。

さて、今年の模擬店では、売り上げ好調で焼きそば、ちたけうどん、パン、そして村おこし応援団による「石釜ピザ」などの食べ物売れに売れて1時を過ぎた頃には売り切れ続出、飲み物も冷たいものだけでしたが売れて追加で仕入れたほど！結果模擬店の収益は過去最高の226千円となりました。

バザーでは特売品とおもちゃが過去最高益を出し

バザー収益では過去3番目の1,284千円と大健闘でした。

まつりを開催してから13年が経ちましたが、最近ボランティアが集まり難く、まつり実行委員会のメンバーも開催初期からほとんど変わらない顔ぶれでシニア化しお疲れモード。そろそろ次の世代にバトンタッチしたいと本音もちらり。長く続けるには若い人たちのエネルギーが必要です！是非とも来年は若い人たちで新しい星の家まつりを作り上げてほしいと切なる願いでヤング・ミドル層のボランティアを大募集中です！！

最後に至らぬ点につきましてはお詫びいたすとともに、これからもご支援のほどお願い申し上げます。



第13回星の家まつり集合写真

寄

付・会費納入者

敬称略・順位不同

平成22年12月末まで

(個人情報保護の観点から、ウェブ版では個人名は割愛させていただきます)

星の家建物購入借入金返済キャンペーン寄付金
今年度12月末現在ご寄付額 47万円(前年度からのご寄付総額558万円)
(目標額1,000万円達成まであと443万円)

なお、沢山の方からお米や野菜あるいは日用品などの物品をいただいております。ご芳名は省略させていただきますが感謝しお礼申し上げます。

ありがとうございました！

ご不明な点がございましたら当会までお問い合わせください。

【編集後記】

師走の26日、隣県の会津地方では観測史上最高に並ぶ積雪で車約300台が立ち往生。新年を迎えて鳥取でも記録的豪雪に見舞われ停泊中の漁船が転覆するなどの被害が続出。猛暑の次は寒波だ！ 世界各地でも、記録的な豪雪や集中豪雨に見舞われているとニュー



スで報じられ、地球規模で異常気象が続発している。ところで、ここ近年会員離れが急速に進んで、H22年度当初の会員数は587名と600名を割り込み、発足時に近づいております。今年、数え年で15歳を迎えた「星の家」ですが、会費や寄付金が収入の半分を占める現状では、まだまだ会員のお力添えが必要です。なにとぞ会員として本会を支えていただきますようお願い申し上げます。m(_)_m

お知らせコーナー

第14回青少年の自立を支える会
コンサート開催のお知らせ！
倉沢大樹ファイナルステージ”

共演：浅香薫子(ボーカル)、島田絵里(フルート)

倉沢大樹さん出演のコンサートは、2002年から始まり今回で10回目を向かえます。この節目の10回を持って、お約束により倉沢大樹コンサートはファイナルとなります。この10年間、子どもたちのためにとお忙しい中をボランティアでご支援いただき、本会がここまで来られましたのも倉沢大樹さん無しでは語れません。



そこで、この記念すべきファイナルコンサートの会場をご来場者で埋め尽くしたいと思しますので、是非ともこの機会にお越しください！

開催日 平成23年 3月12日(土曜日)
開演 17時(開場16時20分)
場所 宇都宮市文化会館 大ホール

*当日開場整理などのコンサートボランティアを募集中です！

第13回星の家まつり決算書

項目	収入	支出	純利益	備考
			(収入-支出)	
合計	1,742,724	293,119	1,449,605	
バザー計	1,287,183	2,623	1,284,560	
オークション	271,620		271,620	
野菜	34,700		34,700	
食器	132,491		132,491	
特売品	70,735		70,735	過去最高益
日用品	269,488		269,488	
おもちゃ・くじ引き	54,114	1,627	52,487	過去最高益
雑貨・手作り品	106,450		106,450	
食品	93,110		93,110	
衣類・靴かばん	224,805	996	223,809	
本・CD	29,670		29,670	
模擬店計	343,154	117,507	225,647	
焼きそば	68,750	42,631	26,119	492食(内ボラ食券217枚)
飲み物	30,400	22,800	7,600	540個(内ボラ食券236枚)
クレープ・パン	123,340	52,076	71,264	クレープ205食+アルス/パン
ライスカレー	12,934		12,934	国際医療福祉大
鉢花売上(希望の家)	4,740		4,740	希望の家
鉢花売上(一人語りべ)	2,000	収益寄付	2,000	一人語りべの会
ピザ	60,000		60,000	村おこし応援団
クッキー	4,000		4,000	
募金・寄付等	112,387		112,387	
寄付金・募金	35,179		35,179	
売残り品・金券等売	77,208		77,208	売残り品処分売却含む
本部経費		172,989	-172,989	
会場借費用		54,570	-54,570	2日分
輸送費		35,000	-35,000	日本通運ワイド大型車1台
共通消耗雑費		83,419	-83,419	

所得税の寄付金控除について

平成22年分から寄付金合計額から差し引く控除金額の5,000円が2,000円に引き下げられました。

【会費納入及びご寄付の郵便振替先について】

加入者名：青少年の自立を支える会 口座番号：00140-3-366972

*通信欄に会員種別・寄付金及びその金額をご記入ください。また、ご入会の方は“入会”とご記入ください。

会員種別と金額は、正会員：5,000円、賛助A：5,000円/一口、賛助B：1,000円/一口、賛助団体20,000円/一口です。

振込などの手間が要らない「会費等の金融機関引落し」のご利用をお勧めしております！

発行者/ 認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会

発行日/ 2011年 1月14日

発行責任者/ 福田雅章

編集責任者/ 曾根俊彦

所在地/ 320-0037 栃木県宇都宮市清住 1-3-48

電話/ 028-666-6023 FAX/ 028-666-6024

Eメール/ sasaeru@snow.ucatv.ne.jp

HP/ http://www2.ucatv.ne.jp/~sasaeru.snow/